

令和 5 年度

小規模多機能型居宅介護事業所 しんじょ

運営推進会議による評価

令和 5 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

令和 5 年 3 月 26 日 開催

令和5年度 小規模多機能型居宅介護しんじょ

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 日の出福祉会	代表者	理事長 中田 喜久	法人・ 事業所 の特徴	アセスメントを行い、利用者のできる事・できない事を見極め、それを元に生活支援を 考えてプランニングしている。また、家族の介護力も同様にアセスメントし出来る所は プランの担当者になり、関わっていただく。リハビリ職が福祉用具選定のアドバイスや、 自宅での環境や動作の評価を行う事により、在宅生活が長くできる様にする取り組み。 それに伴うサービスの柔軟な対応。プランに沿った地域への外出を行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護事業所 しんじょ	管理者	進藤 雅弘		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	① 事業所の運営推進会議参加メンバーが限定されているので各職員が運営推進会議に参加出来るように調整し、内容の理解を深めていく。 ② 自己評価のまとめを参考に各項目の達成状況や課題、改善に向けての取り組みを事業所内会議で行っていく。	年度当初は職員の参加調整を行い、運営推進会議に参加する機会を設けたが、続けての参加調整が難しかった。 自己評価のまとめを参考に今年度の計画(担当制)を立てて進めたが、継続的な取り組みが出来なかった。事業所内会議では運営推進会議資料をもとに職員への周知を図る事が出来た。	・事業所に所属する常勤及び非常勤の全職員で自己評価が行われ、前回の改善計画を共有し、事業所評価並びに改善計画が作成されていることが確認できましたが、改善計画の具体的な内容については事業所内での話し合いを行い、再検討が必要と考えられます。	① 自己評価のまとめを参考に具体的内容を明確にして事業所内で継続して取り組みを行っていく。
B. 事業所の しつらえ・環境	① 引き続き、玄関周囲の事業所看板、インターホン表示をわかりやすい物に変更していく。	インターホン表示設置を行ったが、引き続き、来客者の方には玄関が分かりにくく簡易的な表示となっており、再検討が必要。	・介護相談所のPRが必要。 玄関入口のスペースに荷物が置いてあるので片付けを行い、相談コーナーが設けられるようにしてみたいか。	① 引き続き、玄関周囲の事業所看板の変更を検討すると共に玄関入口に相談コーナーを設ける。
C. 事業所と地域の かかわり	① 新型コロナウイルス感染症の社会状況や動向を見ながら、絆カフェ再開に向けて4か月に1回(年3回)を目標に計画を立てて実施できるよう準備していく。	9月から絆カフェ再開に向けて、年3回(9月、12月、3月)の計画を立てて実施する事が出来た。地域の方々との繋がりを大切に、今後も継続して取り組んでいきたい。	・介護事業所の認識はあるが、実際に何をしている所なのかがわからないので工夫が必要かと思えます。	① 絆カフェの継続的な取り組みを実践し、内容の工夫を行いながら事業所の情報発信を行っていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	① 地域行事や会合への参加の機会を設け、地域の意見や困りごと等の情報提供を受けて、事業所ならびに同法人の施設とも情報共有を行っていく。	地域行事についての情報提供を受けてイベントに参加し、地域の方々との交流を図る機会があった。 地域の意見が聞ける取り組みには至っていないのが現状である。	・ご本人の暮らしを支える事は一人ひとり中心に考えていく事が必要です。馴染みのある場所、まずは近くのカフェ等の参加も検討してみたいかがでしょうか。	① 地域行事や会合への参加の機会を設け、地域の意見収集やご本人の生活歴・スタイルについての情報提供を受け、ご本人の暮らしの支援につなげていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	① 運営推進会議の内容を検討するとともに、伝え方の工夫を行うことにより、事業所で行っている取り組みを参加者へ分かりやすくしていく。また、分からないことがあればアドバイスをいただく。	運営推進会議資料の内容変更と共に引き続き、事業所の取り組み（季節、イベント）を写真にまとめて事業所玄関に掲示して紹介することが出来た。	・特に意見なし。	① 運営推進会議を通じて、地域の活動状況や、地域との関わりが継続できる新たな方法を検討する。
F. 事業所の防災・災害対策	① 引き続き、法人と共に BCP 計画（事業継続計画）策定を進めていく。 ② 運営推進会議のメンバーの方に消防訓練に参加依頼を行い、実際の訓練内容を見ていただく機会を設ける。	BCP 計画（事業継続計画）はほぼ完成に近づいておりますが、細かな修正を行っており、今年度中に完成予定です。 事業所の消防訓練に運営推進会議のメンバーの参加は行えていない。	・BCP 計画については経過措置期間があります。実際に BCP 計画を見た事がないので機会があればお願いします。 ・地域での自主防災組織による訓練を実施しています。一緒に参加してみたいかがでしょうか。	① BCP 計画に基づく訓練を行い、運営推進会議メンバーの方にも参加依頼を行い、アドバイスをいただく機会を設ける。また、地域の自主防災組織の訓練に参加する。